

CoderDojoの経験から見たコミュニティの未来

若林健一

関西オープンフォーラム 2018.11.09

About me

若林健一

- ・ 1967年 大阪生まれ
- ・ 奈良在住
- ・ (一応) ソフトウェアエンジニア
- ・ 自宅にわんこ2人 (あんじゅとココ)
- ・ CoderDojoの人
- ・ 最近はおてらおやつクラブにも参加





おてら
おやつ
クラブ

お寺にお供えされるさまざまな「**おそなえ**」を「**おさがり**」
として経済的に困難な状況にあるご家庭へ「**おすそわけ**」
する社会福祉活動

<https://otera-oyatsu.club/>

CoderDojo とは

CoderDojoとは

全世界1,996箇所で開催されている
無料でオープンな若い人たちのための
プログラミングコミュニティ

The community of 1996 free, open and local
programming clubs for young people

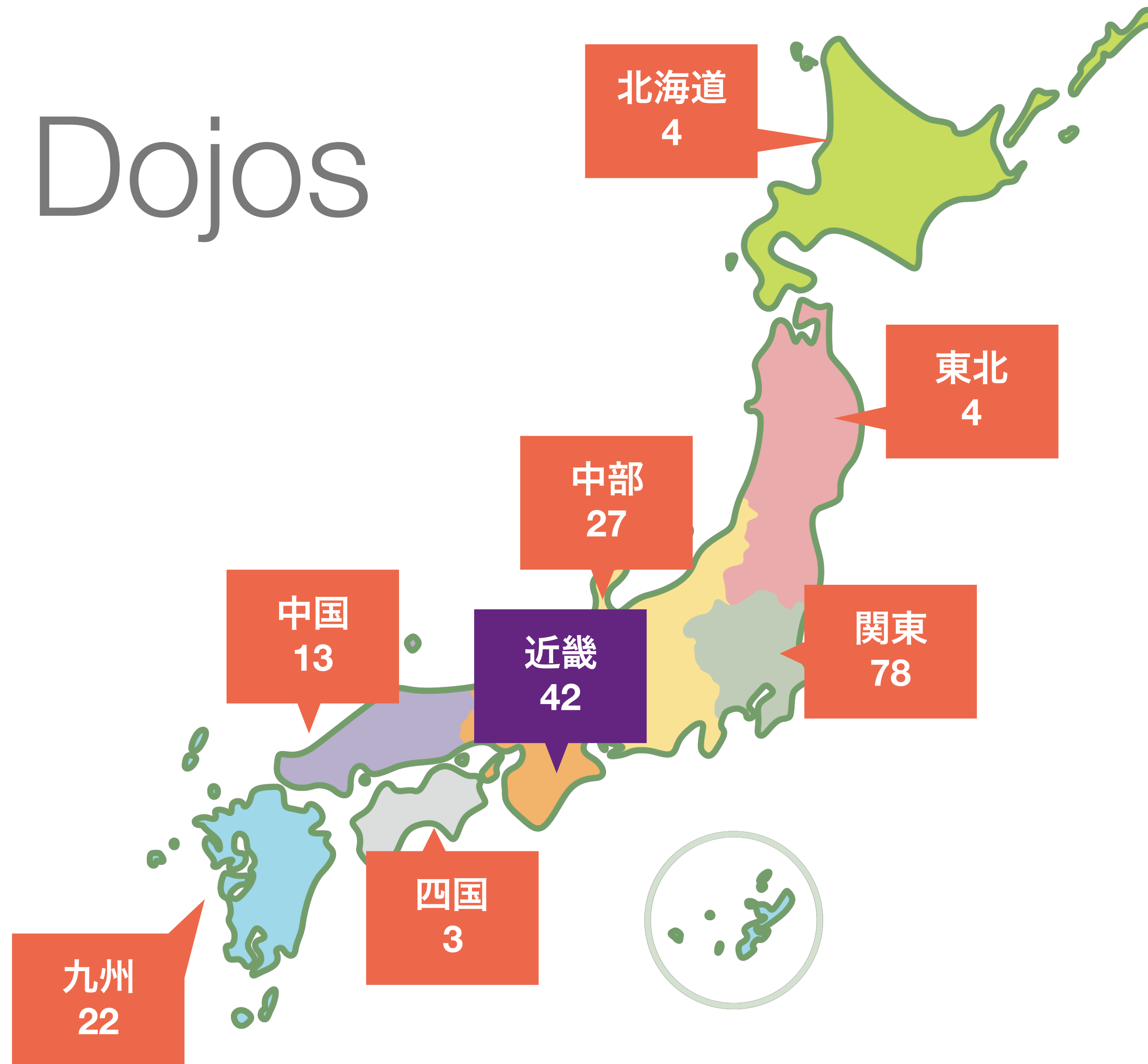
CoderDojoとは

108カ国12,000人のボランティアによって
運営されており、

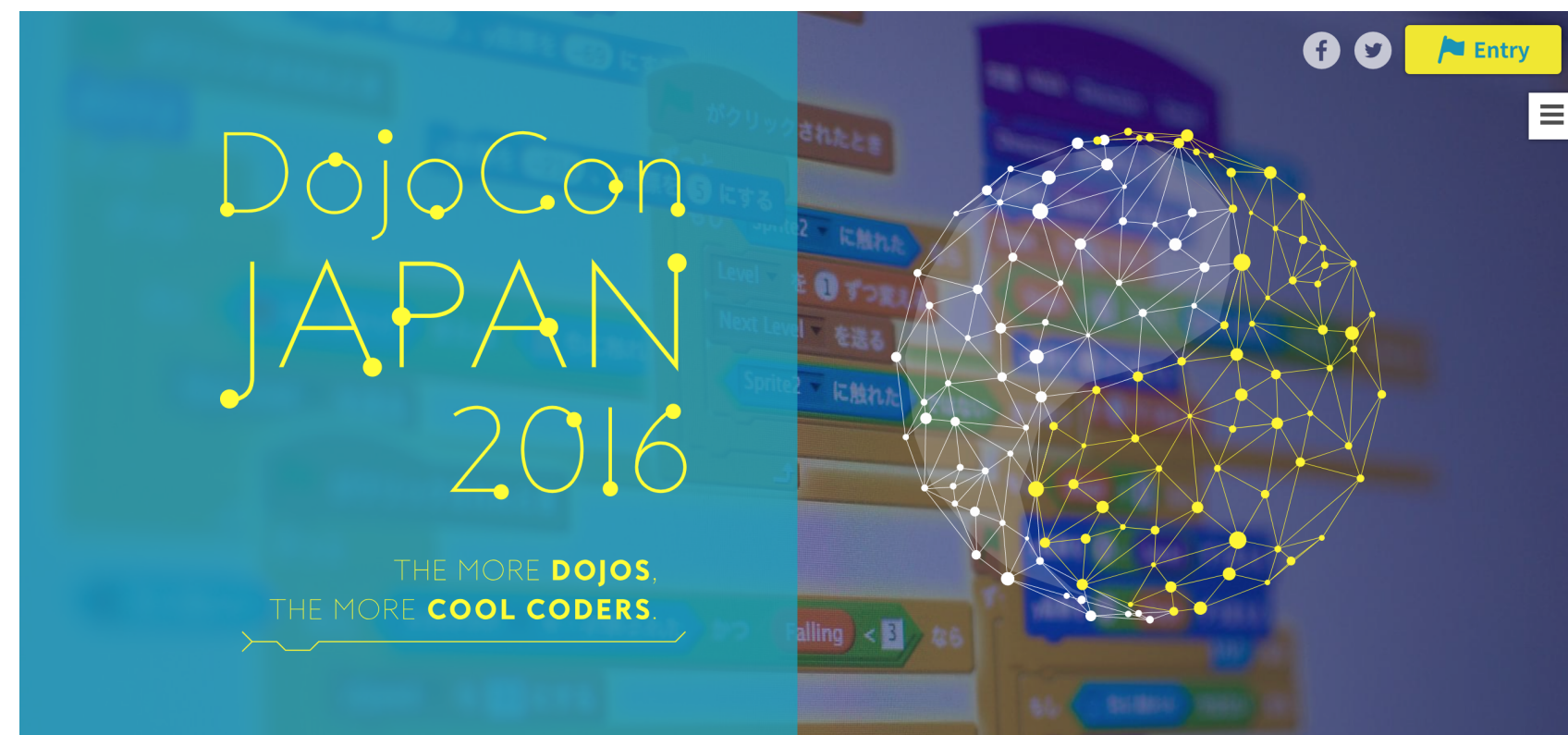
58,000人の若い人たちが参加しています。

58,000 young people are being creative with
technology with the help of 12,000 volunteers in
108 countries

206 Dojos



1年に1回の全国イベント DojoCon Japan



2016年8月
大阪



2017年11月
大阪



2018年8月
東京

ユースメンター
ニンジャをサポートするニンジャ

チャンピオン
Dojoの主たる運営者

メンター
ニンジャをサポートする大人や学生



ニンジャ
Dojoに参加する子供たち

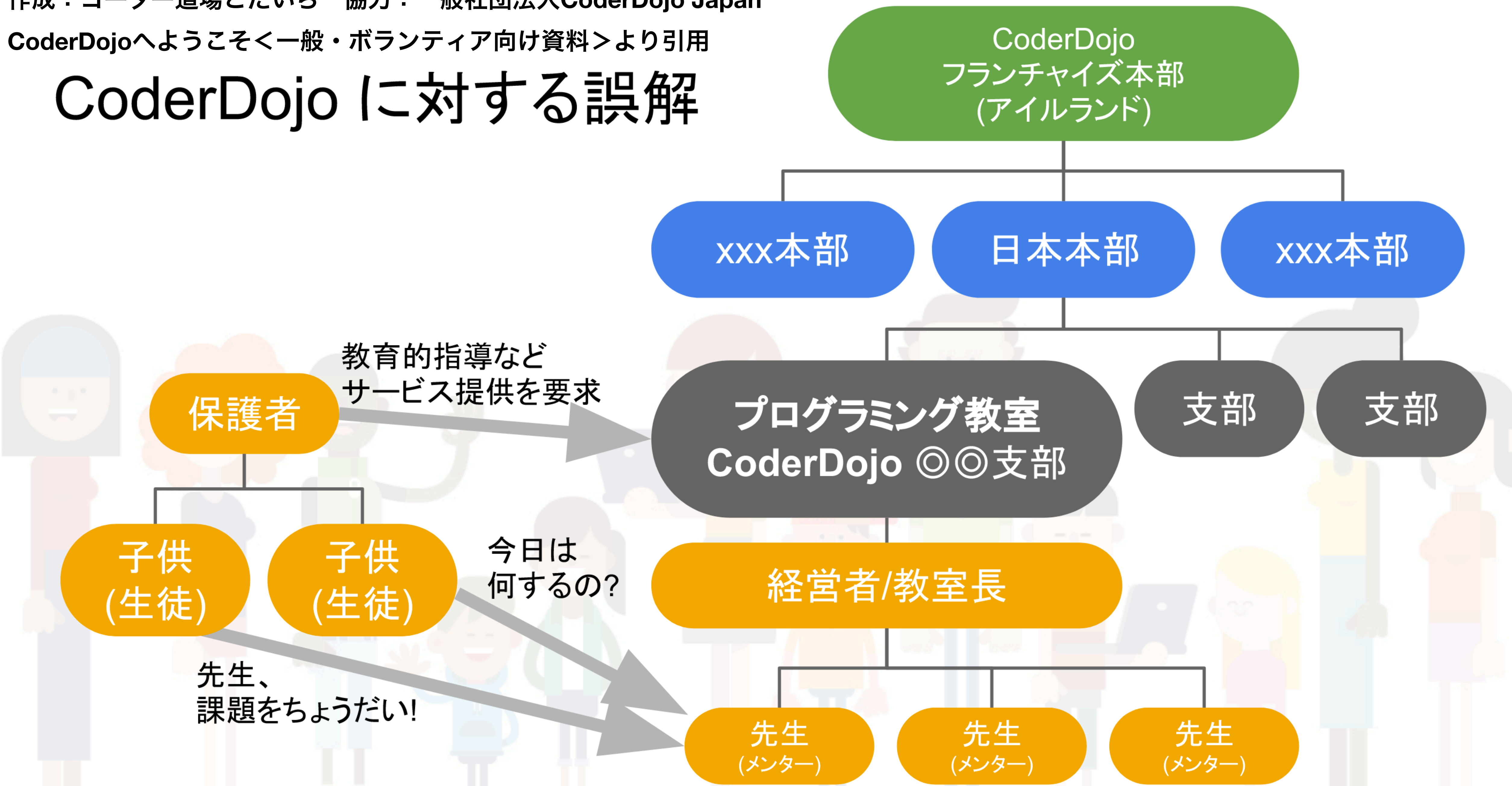
CoderDojoの中の呼び名



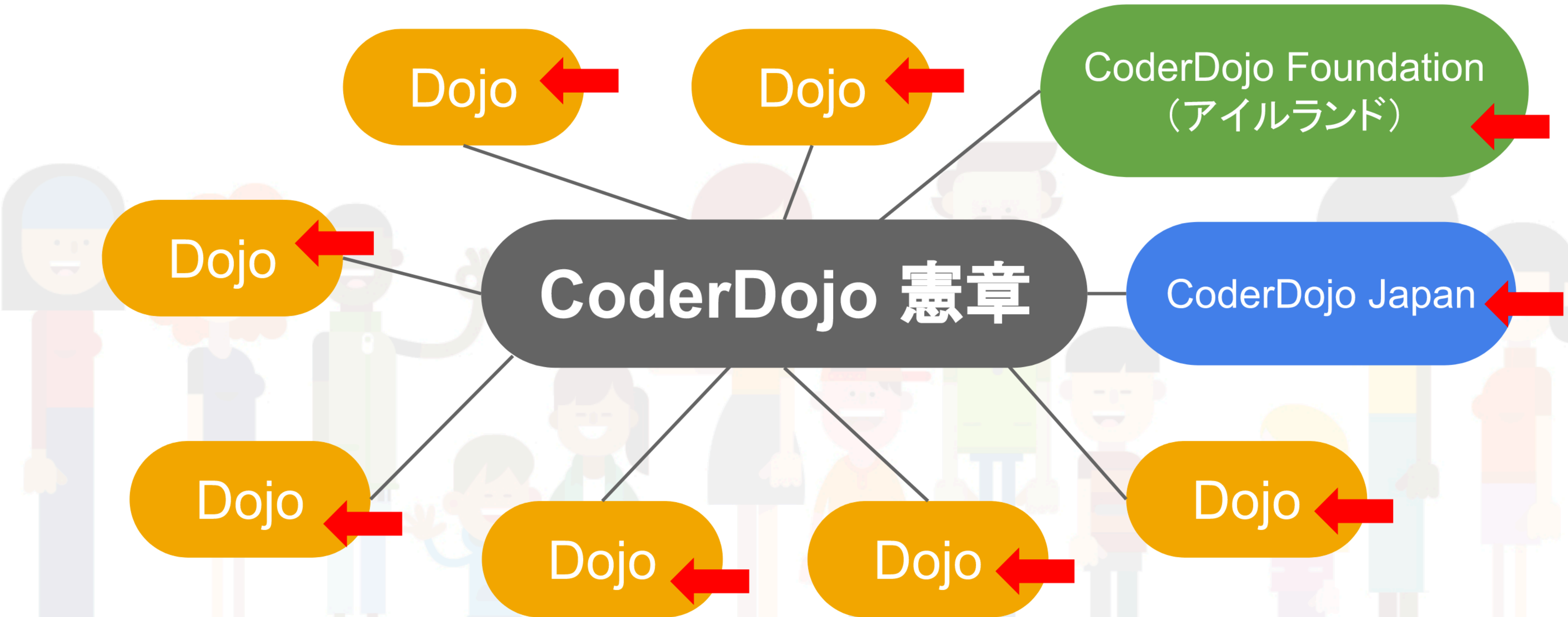
コミュニティの未来

1. 組織をフラットにする

CoderDojo に対する誤解



CoderDojo は「憲章」を中心としたコミュニティ



[凡例] ← 活動の決定権

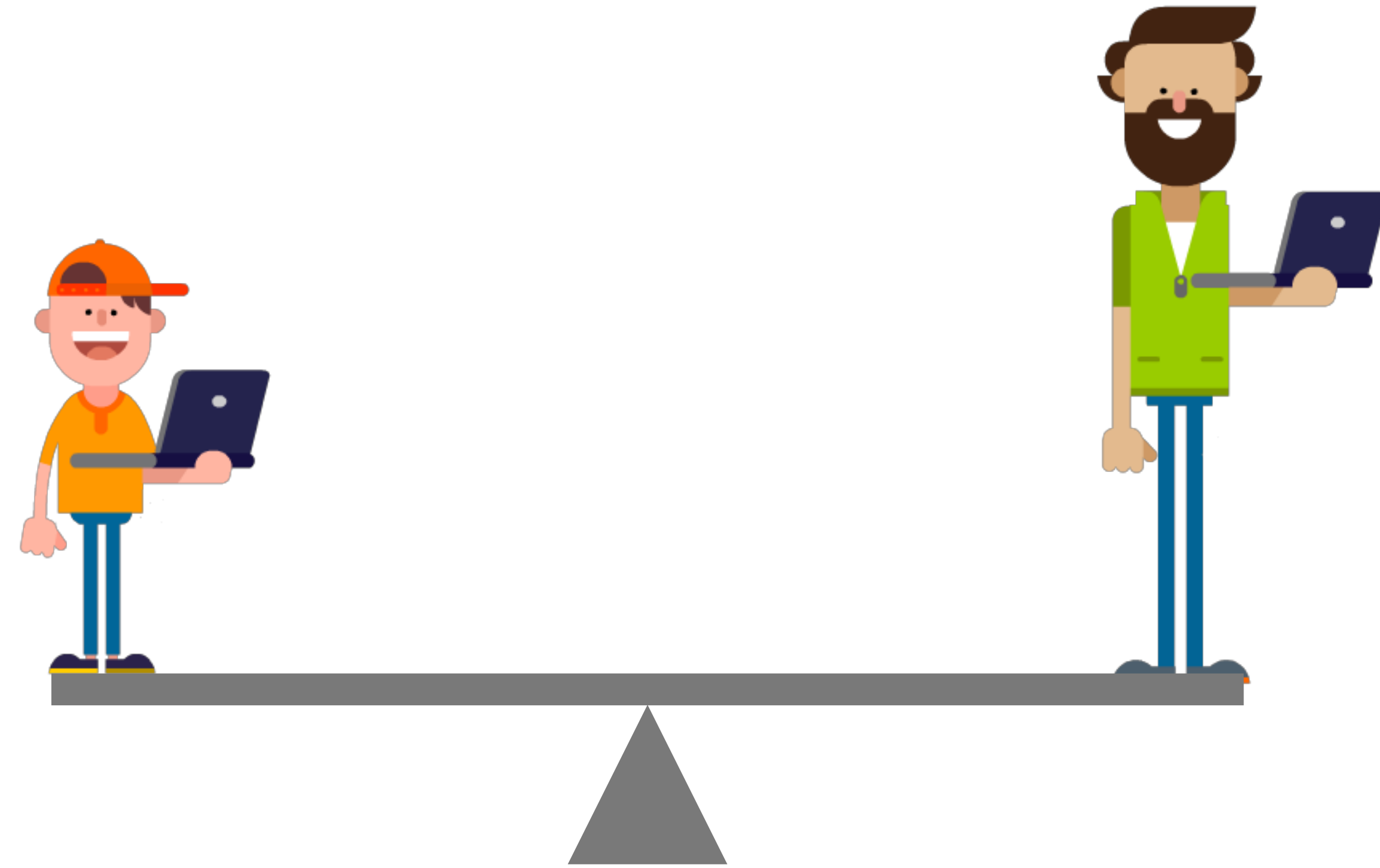
CoderDojo憲章

- 若者が技術を作り上げていくための支援を行い、ひらめきを与えることに尽力します
- できうる範囲で、高い水準の児童保護を優先します
- 道場に参加する子ども達や、その保護者から料金を徴収しません
- 保護者が道場に参加することを推奨します
- 持っている知識を自由かつオープンに共有します
- 自分たちの道場内だけでなく、他の道場とも知識を共有します
- CoderDojo コミュニティの国際的なブランドを維持し、大切にします
- 参加者間の協力を促進し、同世代間のメンタリングや参加者同士のプロジェクトを推奨します
- 性別、人種、性的指向、信念、宗教、能力に関係なく、ボランティアや子ども達を歓迎します

組織をフラットにする

- 組織の階層化は権力争いを産む。
- 誰もが対等な関係がコミュニティを健全にする
- CoderDojoは、CoderDojo憲章を共有し大切にすることで、マインドがフラットな関係を維持する原動力。

子供と大人も対等な関係



仲間として活動している

2. 活動をオープンにする

オープンソースのエッセンスは
IT系以外でも取り入れ可能

1. オリジナルへのリスペクト
2. アイデアを積極的にシェア

3.人を循環させる

フラットなコミュニティにもリーダーは必要



フォロワー
Follower

リーダー
Leader

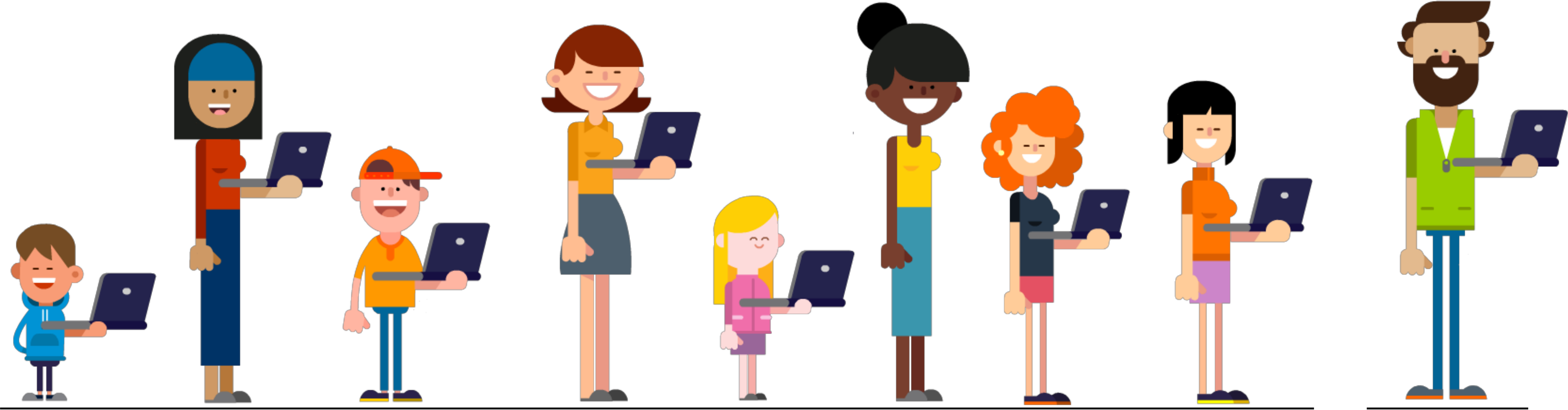
リーダーシップ

- 組織にはリーダーシップが必要。
- リーダーシップを理解できるメンバーが必要。
- でも、リーダーシップはリーダーにしかわからない。

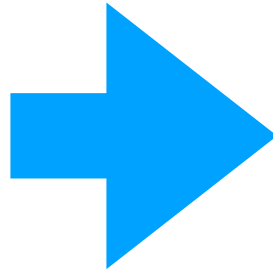
リーダーを循環させる

リーダー
経験者

新しい
リーダー



フォロワー
Follower



サポーター
Supporter

リーダー
Leader

メンバーがリーダーシップを理解することで、
フォロワーからサポーターへ

コミュニティが果たすべき役割



多様性の受け皿
学びの選択肢



働き方改革後の
大人の居場所



ありがとうございました

Thank you!